

ディケンズ・フェロウシップ日本支部会員の皆様

新型コロナウイルスの流行で、不安な日々の中、様々な対応に追われていらっしゃるのではないかと拝察いたします。お元気で過ごしてはいかがでしょうか。

今年の春季大会は6月20日(土)に猪熊恵子先生のお世話で東京医科歯科大学での開催を予定し、準備を進めてまいりました。今年はディケンズ没後150年ということで、春季と秋季の2回の大会は従来にも増して充実した内容のものと心がけ、春季はご講演を原英一先生に、また研究発表を溝口薫先生と、杉田貴瑞先生にお願いして、すでにプログラムの作成に向かってレジュメも頂戴し、準備を進めておりました。

しかし、思いがけない感染症の流行で、政府の専門家会議の有志からは入学式をはじめ多くの人々が一堂に会する会合などの中止を求める提言も出されております。フェロウシップはさほどの多人数ではないとはいえ、やはり全国から会員の方が集まられることとなります。また開催校の東京医科歯科大学は、とりわけ大学の性質上会議などの開催について厳しい条件も設定されているとのことです。

こうした現状に鑑み、理事会で代替の会場設定も視野に入れて開催の可否について検討してまいりましたが、結論として春季大会の開催は中止することといたしました。皆様にお目にかかれないのは残念ですが、ご理解、ご協力をいただきますよう、お願いいたします。

なお、春季大会でご発表、ご講演をお願いしておりました先生方には、今年の秋季大会や来年度の大会においてぜひご発表いただきたいと考え、現在先生方のご都合や秋季以降の開催予定校のご都合などを伺いながら調整中でございます。また具体的な予定が決まりましたら、メーリングリストやHPなどでお知らせする予定にしておりますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

ディケンズ・フェロウシップ日本支部支部長 新野緑